

cope・ラボ co・op lab
taberu taisetsu museum

たべる・* たいせつミュージアム



食の安全と食育・たべるたいせつをテーマとした唯一のミュージアム

私たちの暮らしにとって、食は切っても切り離せないものです。最近の学校教育では食育が総合的に見直され、暮らしの中では「食の安全」や「食生活と健康」の課題が、さまざまな視点から問われています。

いすみ市民生協は、食の安全や食育・たべるたいせつをテーマに、見学・学習・体験ができる「cope・ラボ たべる・* たいせつ ミュージアム」を今春開設します。企業視点の食をテーマとした施設は全国にもありますが、食の安全や食育・たべるたいせつをテーマとした施設は、ほかにはないと考えています。

当ミュージアムは、小学生（3・4年生）からご理解いただける施設をめざしています。オリエンテーション、アトラクション、展示物、ワークショップでの見学・学習とともに、ガイドや検査員とのコミュニケーションやワークショップでの体験を通して、より楽しく理解いただける施設です。

オープンにあたって、行政機関、学校教育機関、広く食について関心のあるすべての方々に、ぜひお越しいただきたいと考えています。

見学・学習・体験の参加型ミュージアム

3つの魅力

1

「ミッション・シート」でゾーンをめぐる、気づきと学びの探検

ミッション・シート:学校向け、小学生(低学年・中学年・高学年)向け、一般向けに設定したミッション(使命)をもとに館内の各ゾーンをめぐります。

■オリエンテーション・ゾーン

「食の安全」「食育」の解説映像を見ながら、ミッションを深めます。



■食の安全・ゾーン

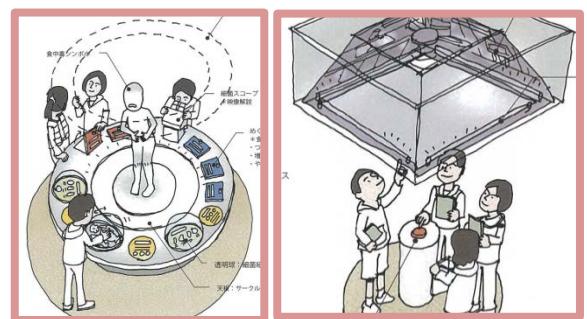
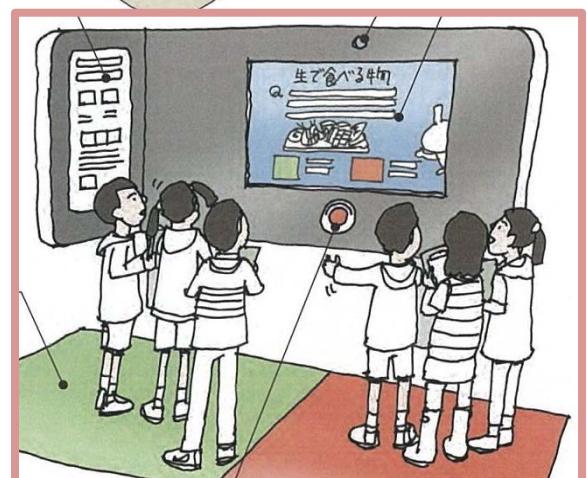
微生物(食中毒)検査、アレルギー検査、農薬(偽装)検査などが果たす役割を、日常的なくらしの中の問題として、アトラクションやパネル展示から学びます。

食の安全クイズ : ○×クイズで問題意識を深めます。ゾーン見学のプロローグとなります。

微生物(食中毒)検査 : 食中毒と微生物の関係を知り、食中毒の原因になる微生物はどこにいるのか、冷蔵庫や台所などから探していきます。

アレルギー検査 : 食材のアレルギー表示や原材料のこと、表示について学習します。

その他にも、食品安全プログラムや商品検査センターの役割をわかりやすく解説したパネルなどを設置しています。



■食育・ゾーン

食べものと体、世界の食、四季や旬の食べ物や生産者の苦労を理解することで、食べることやいのちの大切さを、遊びながら楽しく学びます。



人体トンネル : 大きな口から入って、お尻が出口。トンネルの中で体のしくみが学べます。

巨大うんち模型 : うんちが健康のバロメーター。さまざまなうんちから健康を学びます。

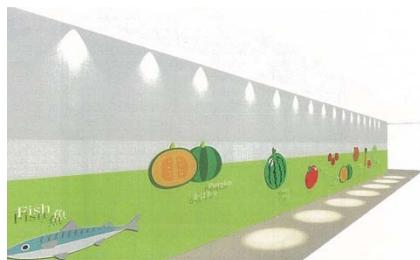
世界の食文化パネル : 国と地域によって違う食文化。そこから食べものについて考えます。



四季の食材模型パネル：季節や祭事、代表的な日本の食から、旬や日本の食文化を考えます。

産地パラパラ漫画：農業や漁業など食生活を支えている生産者の1年を振り返って食の大切さを学びます。

その他にも、栄養バランスシートや出口通路の壁面を使っての食べ物の豆知識などが、食育の学びを広げます。



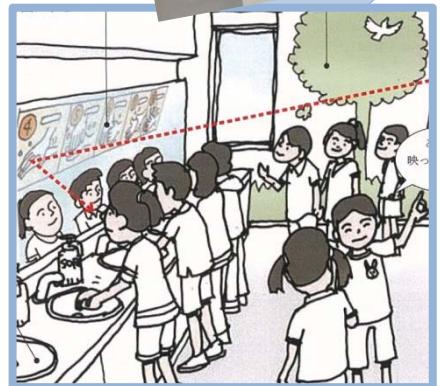
2

「たべるたいせつ」をより実感いたくためのワークショップ

アトラクションの体験や学習を補うためのワークショップを多数準備しています。簡単な料理や実験などを通して、実感的な学びを広げます。



- 施設ガイドによるワークショップ：生協独自のプログラムで体験と実験の企画を実施します。
- メーカー協力によるワークショップ：メーカー独自の出前講座などを開催します。
- 講師を招いたワークショップ：食育の専門家・講師などを招いてプログラムを実施します。



2015年度の土・日は、これらのワークショップを毎週企画する予定です。

3

気づきと学びを深める、施設ガイドや検査員の解説

施設内を見学する際に、事前予約があれば館内案内を行うことができます。アトラクションやパネルなどの説明やコースの案内で、より理解を深めることができます。



- 施設ガイド：食の安全ゾーンを中心に、生協のとりくみや検査にかかる解説を行います。
- 検査員：さまざま検査が行われている中で、直接検査に携わるスタッフがより深い内容をクイズやパネルを使ってわかりやすく解説します。検査に関する質問にもお答えします。



いづみ市民生協がめざす たべるたいせつ

ミュージアムの3つのコンセプト

コープ・ラボ たべる*たいせつミュージアムは、コープ・ラボが提案する「食の安全」に「食育」をプラスした3つのコンセプトで運営する施設です。



国や学校の食育の視点に対応したミュージアムでの見学・学習・体験をめざします。

文部科学省が考える「学校における食育の視点」

●食事の重要性

●心身の健康

●食品を選択する能力

●感謝の心

●社会性

●食文化



「学校における食育」と関連教科の役割

学校給食

食育における「生きた教材」として、学校給食が機能

理科

食に関する課題は、科学的。実感のある食育を進めるための支えとなる強化としての役割

社会科

食に関する指導の中で「食文化」における中心強化の位置づけとしての役割

生活科・総合的な学習の役割

実社会・実生活とのかかわりを重視しながら体験的・問題解決的な実践の機会としての役割

保健

ヘルスプロモーションにおける健康教育の一貫として食育と捉えるための役割

家庭科

食の重要性を理解し、食に関する基礎的な知識・技能を身につけるための役割